

松江市立天文台～5月の天文教室～

平成29年5月31日

～5月下旬午後9時頃の星空



日没が遅くなり、午後8時でも空には明るさが残ります。
暗くなり始めると南の空にひときわ明るい星が見つかります。これが木星です。木星は、望遠鏡で表面のしま模様や、ガリレオが発見した4つの衛星を観察できます。
星座では、おおぐま座の北斗七星、うしかい座、しし座、おとめ座などをさがしてみましょう。

5月下旬午後9時頃の星空です。
月、木星、土星の位置は5月31日現在のものです。
各天体の見かけの大きさは強調してあります。
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は、月齢5
見え始める頃には西の空にあり、夜半には沈んでいきます。
月の欠け際は、太陽の光が横から当たるため、地形の光と影のコントラストが美しく、小型望遠鏡でも楽しめます。



木星

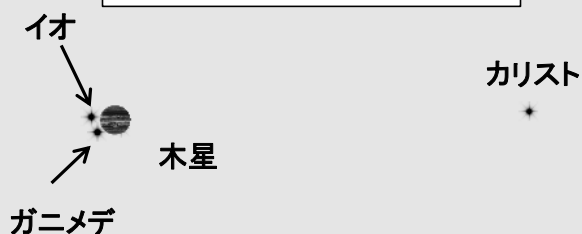
木星は、太陽系最大の惑星で、その直径は地球の約11倍、質量は約318倍もあります。

小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)を観察できます。

ガリレオ衛星は天文学者ガリレオ・ガリレイが1610年に、手製の天体望遠鏡で発見しました。

ただし、4大衛星のひとつ「エウロパ」は、木星の裏側に位置しているため、今夜は見えません。

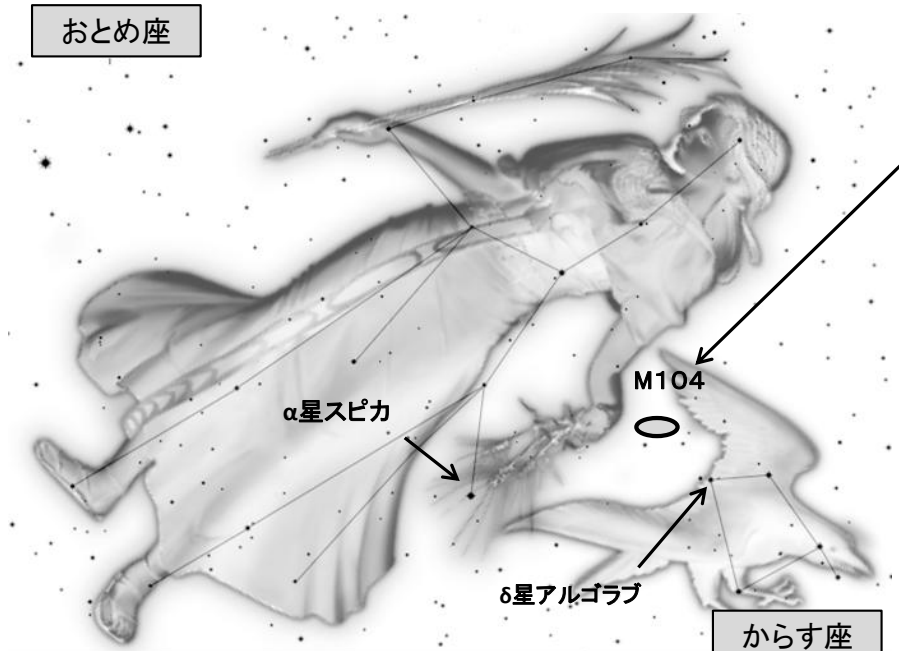
5月31日の木星とガリレオ衛星



おとめ座とからす座

おとめ座とからす座は、ともに春を代表する星座で、おとめ座α(アルファ)星のスピカは白く輝く1等星です。からす座は小さな星座で明るい星はありませんが、台形の並びが目につきやすく、意外にも古代から知られている星座です。

おとめ座



M(メシエ)104は、おとめ座にある代表的な銀河のひとつです。
6500万光年のかたにあり、別名ソムブレロ星雲と呼ばれています。
ソムブレロはメキシコのつばの広い帽子のことで。

からす座のδ(デルタ)星はアルゴラブ(からす)という固有名が付けられていて、天体望遠鏡で見ると、3等星と8等星の二つの星に分かれて見えます。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 6月28日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会